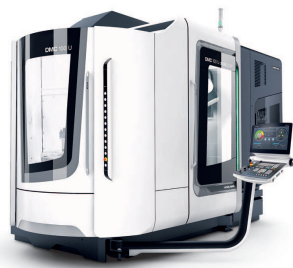


松岡特殊鋼

新型5軸加工機導入

津島工場 能力2割向上へ



導入した新型5軸加工機

【名古屋】特殊鋼流通大手の松岡特殊鋼(本社＝名古屋市中川区松岡町4-61、松岡隆司社長)は、このほど、津島工場(愛知県津島市白浜町宇島羽見5)に新型の5軸加工機を導入し本格的な稼働を開始した。これにより津島工場では5軸加工機が5台体制を構築。投資効果として来年度(2018年5月期)の早い段階で津島工場の加工能力を2割向上させるとともに、さらに高精度加工の領域を広げる考えだ。

今回導入した5軸制御 MC 100 U d 御マシニングセンタは uoB LOCK で DMG森精機製の「D」前月に据え付け工事を完了した。全送り軸駆動冷却による最大30%の加工精度向上や、電力消費量を最大3割削減する高効率性が特長。省スペース設計で、加工中の段取りが可能。高速度ハレットチェン、高剛性構造、難削材の加工が容易なうえ、金型製作で要求される最高レベルの面品位まで実現できる。

津島工場では恒温室で小物の超精密加工を行っていたが、設備移転などにより空いたスペースにまず新鋭機を設置。8000角の母材サイズに対応し、中・大物の自動車向け部材加工をメインに生産性と製品精度の向上を図る。津島工場では引き続き恒温室の活用による他設備の設置を進め、加工の効率・精度をアップする方針で、松岡社長は「全社的な整備を進め高付加価値な加工分野を拡大し、利益率の高い経営体制を構築する」と話している。

同社は東海圏に生産拠点の4工場を含む6拠点を持ち、高品質の金型材料を始め、多様なマシニングセンタを駆使した精密加工を手掛ける有力特殊鋼流通企業。

JFE鋼板「フレームキット」高架下建物に初採用

【JFE鋼板(小倉)】内所とイベントスペースに採用されてきた高架下の建物への採用は初めて。3カ月と工期の短縮と、半量という短工期の施工となる中、それらの要求を満たしたことが採用の決め手となった。このほど完了した。

「新館観光案内所」は2020年の東京五輪・パラリンピックを見据え、文化観光情報発信拠点の1つとして、高架下の建物として建てられた。施設は甲州街道の高架下で、道の駅や重機使用の面で制約があり、独自の設計による設計。



「新館観光案内所」が採用された新館観光案内所は、2020年の東京五輪・パラリンピックを見据え、文化観光情報発信拠点の1つとして、高架下の建物として建てられた。施設は甲州街道の高架下で、道の駅や重機使用の面で制約があり、独自の設計による設計。

自由度の高さやボルト接着で施工性に優れる点など、同製品の特長が存分に生かされた。同製品は00年の販売開始以来、約1000棟の実績があり、16年度は13年度比76%増の67棟に採用される見通し。都市部では道路や鉄道などの高架下への商業施設建設が増える。同製品の優位性をアピールし、さらなる販路を開拓する。



あいち大学的小河会長

新春懇親会を開催

東海CC工業会 70人が出席

【名古屋】東海CC工業会(東海CC工業会)は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

鉄構事業立て直し狙う

【名古屋】東海CC工業会(東海CC工業会)は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

小河氏は「東海CC工業会は、このほど、新春懇親会を開催し、関係者約70人が出席した。東海CC工業会(小田原)の会長、小河清一氏が挨拶した。」

カールツァイスの計測機器を紹介

進和がプライベートショー

社史・団体史の発行をお考えですか?

個人史・書籍・発行本・記念誌・新聞・会社案内・カタログ・マニュアルなど
ご要望にお応えし、編集制作・印刷をお引き受けします。

株式会社 産業新聞社 東京本社 TEL (03) 5566-8777 大阪本社 TEL (06) 6443-8551

近畿工業「スーパーシュレッダー」丸本鋼材が1号機導入

複合スクラップ高精度分離

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

コンプレッサやモーターなどは鉄、銅、アルミニウムなどの金属を中心にさまざまな素材で構成される。こうした複合金属スクラップを破砕機「スーパーシュレッダー」で加工処理する場合、金属の延性、展性により処理過程で丸まるなどの変形が起これ、異なる素材同士が混ざり、破砕処理を行う。破砕後の金属が互いに噛み込んだ状態では、スクラップの90%以上を素材

導入した1号機は順調に稼働、母材の選別や前処理、選別ラインなどの組み合わせで最適運用を目指す

選別ラインや母材の選別、前処理の方法などノウハウを総動員し、最適な運用方法を模索中だ。「スーパーシュレッダー」の持つ特徴は、高い環境負荷の低減、高い処理能力、可能な限り国内で調達すること、コスト削減など。投入可能重量は2トン、投入可能単体重量30トンと、コンパクトな設計とし、一回の破砕処理で高い精度の単体分離を可能に。破砕処理した後の消費電力を一般的なシュレッダーに比べて約70%削減した。大型シュレッダーに比べ時間当たりの処理能力は抑えられているものの、高省エネ効果で処理コストの圧縮につながる。こうした点が、評価され、環境省の省CO₂型リサイクル高度化設備導入促進事業の対象設備として採択された実績もある。

鉄や非鉄金属などの複合物は処理コストが高くなり、国内で選別処理されず中国などに輸出されているものが多い。人件費

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

【近畿工業(兵庫県神戸市、和田田社長)】の新型分離破砕機「スーパーシュレッダー」を初めて導入した。工業用機械など金属を中心とした複合物の加工処理に特化したシュレッダーの商業1号機で、すでに稼働を開始している。複合物を素材の種類ごとに高い精度で分離することにも、省エネルギー化によるCO₂排出量の削減で環境負荷の低減を実現した。

新日鉄住金

金16日、高圧水素用ステンレス鋼「HRX19」のブランドロゴを制定

高圧水素用ステンレス鋼「HRX19」のブランドロゴを制定

高圧水素用ステンレス鋼「HRX19」のブランドロゴを制定

低CO₂の「新しい製鉄」

JFEスチールは「低CO₂の新しい製鉄」を推進する

JFEスチールは「低CO₂の新しい製鉄」を推進する

JFEスチールは「低CO₂の新しい製鉄」を推進する

山陽特殊製鋼株式会社

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示

山陽特殊製鋼株式会社

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示

3Dプリンティング 2017 金属粉末など展示